

- 大阪都市計画局が主導し、JR学研都市線沿線の6市(枚方市、交野市、寝屋川市、四條畷市、大東市、東大阪市)およびJR西日本が参画して、「JR学研都市沿線まちづくり協議会」が設立されています。

※下線のある各市では、シェアサイクルの実証実験が導入されています。

- 協議会では、沿線地域の活性化と課題解決に取り組んでおり、2025年3月には「JR学研都市沿線まちづくり未来ビジョン」が策定され、今後のアプローチのひとつに『シェアサイクルの広域相互利用』が位置付けられました。



- 「快適でシームレスな移動」の実現に向けて、令和8年1月から2月頃の実証実験の導入をめざし、現在、事業者と協議を進めています。
- 実証実験の導入にあたっては、スマールスタートで段階的に進めていく予定です。
- 導入区域は西部市街地を想定しており、市有地を活用して、まずはサイクルポート15カ所の設置から開始する予定です。

Chapter 4 今後のアプローチ

Theme 1 快適でシームレスな移動

未来ビジョンに沿って
アイデア発想した
取組例

各駅周辺・高架下スペースなどの鉄道敷地や公園・市役所などの行政施設を利用したサイクルポートの拡充や市境を越えた相互利用により、ラストワンマイルの移動手段の実現を図ります。

上田市・千曲市
地域シェアサイクル社会実験
Ueda & Chikusei share cycle

期間：令和6年7月1日～
～12月18日まで

出典：JR学研都市沿線まちづくり未来ビジョン（令和7年3月）